

デイと送迎のリスクマネジメント (2部構成・70分)

－事故防止活動のコツと防止の具体策－

2か月間の期間限定配信で3,300円

デイサービスは、リスクマネジメントに取り組む私たちから見て、最も難しい取り組みです。なぜなら、デイサービスでの介護サービス提供だけでなく、送迎業務のリスクやクレームも多く、多岐に亘るからです。レクリエーションや外出時の事故から送迎車の降ろし忘れ事故まで、深刻な被害につながる事故は万全の対策が必要です。本動画セミナーでは、介護事故防止の考え方をご説明し、デイで発生する14の事故事例を使って現場で簡単にできる対策をご紹介します。また、酷暑にはドライバーの体調不良事故も起きますから、万全な対策をお願いします。

動画セミナー提供方法

- 提供対象：安全な介護にゅーす読者
- 配信期間：2024年5月1日～6月30日
- 提供資料：セミナーテキスト・お役立ちツール
- 提供価格：3,300円(税込)4月23日メ切
[施設・事業所単位でお申し込みください]

※安全な介護の顧問先法人は無料です

- 申し込み方法：下記URLからお申し込みいただき、所定口座に配信料をお振込みください。視聴データ・テキストは、前月末までにメールで送付いたします。

<http://tiny.cc/ogbuwz>

動画セミナーの内容

第1部 デイサービスのリスクマネジメント

《1》事故防止活動の基礎知識

- ・新しい事故防止活動に切り替えよう
- ・防ぐべき事故を明確にしよう
- ・事故を正しく評価しよう

《2》デイサービスのリスクと事故防止の具体策

- ・転倒 ・誤薬 ・誤えん ・排泄介助の事故
- ・入浴介助中の事故 ・行方不明事故など

《3》事故発生時の対応

第2部 送迎業務のリスクマネジメント

《4》送迎業務の事故防止対策

- ・居宅から送迎車の移動介助中に転倒骨折
- ・居宅の玄関で奥様に介助を任せ転倒
- ・門から玄関まで車椅子が使えず歩かせて転倒
- ・利用者を送迎車から降ろし忘れ熱中症で死亡
- ・デイ来所時に送迎車から降りて来て転倒、など

2. 誤乗事故の防止対策

火曜日には、山本さんという姓の女性の利用者が二人います。お二人とも少し認知症があるので、窓は家族が指定の鞆袋に入れて持たせてくれます。ある日介護職員が鞆をお譲りに配る時に二人の山本さんを取り違えてしまいました。乗車時には利用者の氏名を読み上げてダブルチェックしましたが、二人とも間違っていました。

- 利用者の氏名を読み上げても本人確認はできない
利用者も薬も写真で確認すれば確実に照合できる

▶ ミスを防止する対策とミスが発生した時チェックする対策
人は誰でも必ずミスをしますから、ミスの発生を防止する対策と同時に、人がミスをした時ミスを発見するチェックの仕組みを作らなければなりません。

●お薬袋に工夫

●薬のチェック

●利用者のチェック



●送迎中の自動車事故

8. 送迎車運行中に利用者が体調急変

あるデイサービスの朝の送迎中に、車内の利用者が急変し隣の席の利用者が運転手に異変を伝えました。送迎車の運転手は動揺して、デイに到着まで連絡を入り救急車を呼んで！と指示を受けましたが、救急車の要請にも手回ってしまいました。その後、看護師と相談員が現場に急行し、搬送先の病院を確認して家族に連絡し病院へ向かいました。デイサービスでは「送迎車が来ない」とクレームが入りパニック状態になりました。急変した利用者は救急搬送の遅れで重大な後遺症が残りました。所長は「運転手と職員の間で連絡が繋がらなかったのが原因で、もっと連絡を密にするように」と指示しました。

●確認のポイント
連絡を密にすれば、迅速に体調急変に対応できるだろうか？

- 一瞬を争う対応はマニュアル化しなくてはならない



所長が言うようにデイと運転手の連絡を密にすれば、もっと迅速に対処できたでしょうか？送迎業務中の自動車事故など想定外のアクシデントへの対応は、全てをマニュアル化していなければ護ちできません。

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp